

令和 8 年度
高規格準拠救急車
仕様書

医療法人社団 清智会

清智会記念病院

第1章 総 則

1 仕様書の目的

この仕様書は、清智会記念病院（以下「当院」という。）が作成する高規格準拠救急車（以下「救急車」という。）について、必要な事項を定める。

2 法的な適合と車体の条件

仕様書に定めるもののほか、道路運送車両法及び道路運送車両保安基準、その他の関係ある法規通達等に適合し、かつ、緊急自動車としての承認が得られるものであり、車体は、艀装を含めて、人員並びに救急資機材を積載した車両重量の状態において十分な耐久性を有するとともに、安全かつ安静に傷病者を搬送できるものであること。また、受注者は、高度管理医療機器等の販売業の許可を受けたものであり、その許可証及び必要な講習を修了した者の終了証を所持していること。

3 装備品等

車両取り付け品・装備品及び附属品は、すべて新規製品で十分な強度及び安定度を有し、耐久性及び耐食性に優れたものであるとともに、関係機関が行う認定、検定並びに検査を必要とするものについては、それに合格したものであること。

4 契 約

- (1) 契約にあたっては、本仕様書の不明な点を事前に当院へ質疑し、内容を十分熟知のうえ了承して締結すること。
- (2) 艀装にあたっては、当院の事業担当者と協議した後、艀装の詳細図面等（以下「承認図書」という。）を作成し、当院の承認を受けた後に着工すること。また、艀装工作の都合等によりやむを得ない事由が発生し、本仕様書又は承認 図書の内容を変更する必要があるとき、又は不明な点が生じたときは、必ず事前 に当院へ連絡し、必要な指示を受けるとともに、その内容について双方が確認書 等を取り交わし、誤りがないよう万全を期すること。
- (3) 設計及び製作にあっては、特許その他権利上の事項に十分注意し、支障が生じ たときは、受注者においてその責任を負うこと。

5 提出図書

- (1) 受注者は、救急車の製作にあたって事業担当者と十分打合わせを行い、艀装設 計の承認のため、次に掲げる内容を満たす承認図書をA 4 版ファイルに綴り2部 提出すること。
 - ア 艀装承認図（艀装車両外観4 面又は5 面図を含む）
 - イ 電気関係配線図（艀装等を含む）

- ウ 医療用酸素関係配管図及び高度管理医療機器等販売業許可証
 - エ 取付け品・装備品及び附属品明細一覧表
 - オ 製作工程表
 - カ その他当院が指示した図
- (2) 受注者は、完成車両を納入する際に、次に掲げる内容を満たす完成図書をA4版ファイルに綴り2部提出すること。
- ア 艀装外観4面又は5面完成図
 - イ 電気関係配線完成図（艀装部位）
 - ウ 医療用酸素関係配管完成図
 - エ 外観5面の完成写真（車両登録後）
 - オ 自動車改造計算書
 - カ 各種取扱説明書
 - キ その他当院指示した図

第2章 車両の仕様

1 車両の仕様に関する基本的事項

救急車に使用する車両は、現行の基準排出ガスレベルを達成した原動機を使用し、かつ、艀装開始前3ヶ月以内に製造されたものとし、密閉性を有するものであり、あらゆる救急活動に必要な設備及び各種救急資機材を効率よく確実に収納できる構造であるとともにこの仕様書において指定した装備品以外のものについては、純正品として製造元が公認する物品を装備すること。

2 車両の主要諸元

(1) 車体寸法

車両全高 2,400mm以上 2,500mm以下

車両全幅 1,800mm以上 1,900mm以下

車両全長 5,300mm以上 5,800mm以下

室内高 1,800mm以上

室内幅 1,650mm以上

室内長 3,300mm以上

(2) エンジン

総排気量 2,400cc 以上

(3) 使用燃料

レギュラーガソリン

- (4) 変速装置
オートマチックトランスミッション
- (5) 駆動装置
四輪駆動方式
- (6) ステアリング装置
パワーステアリング装置付き
- (7) ブレーキ装置
前輪はベンチレーテッドディスク式、後輪はリーディングトレーリング式とし、アンチロック装置付き
- (8) タイヤ
ラジアルタイヤ（スペアタイヤ含む）
- (9) 安全装置
SRS エアバック装置、自動ブレーキ、車線はみ出しアラート、自動ハイビーム、車両接近周知機能、横滑り防止装置、発進加速時空転防止装置付き
- (10) 乗車定員
6名以上

3 車両装備品の仕様

- (1) バッテリー
バッテリーを電源とする赤色警光灯及びその他の灯火並びに機能を同時に賄える容量を有し、点検整備交換が容易に行なえる構造であること。
- (2) オルタネーター
車両のバッテリーを電源とする赤色警光灯及びその他の灯火並びに機能を同時に賄える発電量を有すること。（アイドリング状態で賄える発電量とする。）
- (3) エアコンディショナー
純正品とし、患者室内を十分に空調できる性能を有し、運転室と患者室の両方で調節可能な構造であること。
- (4) パワーウィンドウ
車両純正品
- (5) 前照灯
LEDヘッドランプ
- (6) フロントアンダーミラー
車体左先端部に取り付けること。
- (7) 助手席用補助ミラー
隊長席から後方視界を視認できるバックミラーを運転室内に設け、車外後方視界を現認できる補助ドアミラーを取り付けること。

- (8) バッテリー電流計
車両純正品（運転席で容易に視認できるもの）
- (9) バッテリー電圧計
車両純正品（運転席で容易に視認できるもの）
- (10) エンジン稼動積算計
製造元公認品（運転席で容易に視認できるもの）
- (11) 後退警告装置
合成音声式
- (12) フォグランプ
車両純正品
- (13) サンバイザー
車両純正品（運転席及び助手席）
- (14) サイドバイザー
車両純正品（運転席及び助手席）
- (15) 集中ドアロック
車両純正品
- (16) カーナビゲーション
バックモニター・バックアイカメラ・ナビ照明（夜間モード）スイッチ付
- (17) 車両周囲画像システム
前後左右のカメラにより、カーナビゲーション又はルームミラー型のモニターで確認できること。
- (18) 前後2カメラドライブレコーダー
随時撮影タイプ16時間以上記録可能、ナビ連動、記録媒体付
- (19) ETC2.0（セットアップ込）
運転室内に取り付けること。
- (20) ハイマウントストップランプ
後部ドア上部にハイマウントストップランプ（LED）を取り付けること。
- (21) サイドフラッシャーランプ
車体前部のルーフ側面又はドアミラーにサイドフラッシャーランプを左右に各1個取り付けること。
- (22) 電磁式半ドア防止装置
サイドスライドドア及び後部ドアに、電磁式半ドア防止装置を取り付けること。
- (23) 後部ドア部照明灯
スライドドアステップ付近及び後部ドアに、照明灯を各1個取り付けるとともに、点灯及び消灯が各ドアの開閉に連動して作動すること。

(24) 路肩灯

左右後輪付近に、L E Dの路肩灯を各1個取り付けること。

4 ベース車両製造元が公表する付属品の他、次のとおりとする。

- (1) フロアマット 1式（車両純正品）
- (2) 機械工具 1式
- (3) 非常表示装置 1式（停止表示板、発煙筒・信号灯）
- (4) スタッドレスタイヤ（純正ホイール付き） 4本
- (5) ドアロックリモコン付き予備鍵（アンサーバック機能付き） 3個
- (6) ナンバープレートフレーム（ステンレス製） 前後各1枚

第3章 車体の艤装

1 車体の艤装に関する基本的な事項

救急車の艤装にあたっては、車両の重量軽減、防錆及び防水性を図るよう努めてアルミ又はステンレス及び堅牢な樹脂等を用いて艤装し、電装関係にあつては配線を内装の内側に隠蔽して車体内外に露出しない構造とするとともに、当院が支給する救急資機材を安全確実に積載し、かつ、効率よく活用できる配置並びに構造とすること。なお、詳細な取り付け位置、方法等は落札後当院との協議により決定する。

2 車体外面の艤装

(1) 車体の塗装

外装塗装は、白色のウレタン塗装とし、塗膜に保護コーティングを施すこと。

(2) 赤色警光灯

ア ルーフ前方上部にL E D点滅灯を用いた散光式赤色警光灯を車体と一体になるよう取り付けること。

イ ルーフ後方側部の左右一対にL E D点滅灯を用いた散光式赤色警光灯を車体と一体になるよう取り付けること。

ウ フロントバンパーに、L E D赤色点滅灯を左右一対に取り付けること。

エ 後部ドア内側下部の縁にL E D赤色点滅灯を取り付け、後部ドア開放時に自動的に点灯し、後方及び左右から容易に視認できること。

オ 各灯火ともサイレンに連動し自動的に点灯するとともに、スイッチを設けることにより単独でも点灯できること。（電子サイレンアンプ可）

カ ルーフ上部及びルーフ後方側部の左右一対の散光式赤色警光灯は、サイレン切り替えスイッチ、サイドブレーキ等と連動して発光パターンが自動的に変化する事。

- (3) 作業灯一体型LED赤色点滅灯
左右ルーフサイド及び後部ドア上部に、車体と一体になるよう作業灯一体型LED赤色点滅灯を各2個取付け、スイッチを設けること。
- (4) モーターサイレン
 - ア 電子サイレンを吹鳴するためのスピーカーを、ルーフの高さを越えない位置に、車体の外観を損なわないよう取付けること。
 - イ モーターサイレンを、ルーフの高さを越えない位置に、車体の外観を損なわないよう取り付けること。
- (5) プライバシーウインドウ
運転室を除くガラス窓には、患者室のプライバシーを保護するために暗色ガラスを用いるとともに、患者室右側面窓ガラスには着色フィルム、患者室左スライドドア窓ガラスには一部透明仕様のくもりフィルム、横向きシート上窓ガラス及び後部窓ガラスには全面くもりフィルムを貼付すること。
- (6) 電源コネクター
車体外部の至便な位置に、AC100ボルト外部入力用マグネット式コンセントを設け、マグネット式外部電源接続コード（10m）を付属すること。（外部電源入力中は、エンジンが始動しない装置を取り付け、通常時はインバーターに自動で切替わること）
- (7) ステップ
 - ア 車体後部のバンパー下に、患者室内に乗降するためのステップを設けるとともに乗降時にバンパーを傷つけないようステンレス板を用いてバンパーを保護すること。
 - イ ステップに滑り止め加工を施すこと。
- (8) 保護板
傷病者室のスライドドアステップ及びステップ立ち面に、アルミ保護板を取り付けるとともに滑り止め加工を施すこと。
- (9) 誤発進防止装置
盗難防止スイッチ又は誤発進防止装置を運転室に設けること。
- (10) 反射テープ
各開口部を開けた際において、視認しやすい位置に赤色の再帰性反射テープを貼り付けること。

3 車体室内の艤装 車体室内の艤装は次とおりとする。

- (1) 床面室内の床は、雨天時の救急活動等で、室内が濡れ又は汚れても滑りにくく、清掃しやすいものとし、水拭きに耐える材質で防音、防熱加工を施すこと。
- (2) 内張り室内の内張りは、汚染及び消毒薬剤に充分耐えるものであるとともに、容易

- に清掃洗浄ができる材質であること。
- (3) 座席各座席は背もたれ付きであり、折りたたみ式又は跳ね上げ式の構造とし、サブストレッチャーでの患者収容が可能なこと。
- ア 高級前向き隊員席を取付け、座席下に消火器を設置すること。
 - イ 患者処置用として後ろ向きのシートを設けること。
 - ウ 患者室後部の左側に、窓側を背当てにした横向きの2人又は3人掛けシートを設けるとともにシートの下には資機材を収納するためのボックスとして利用できる構造とし、シートには人数分のシートベルトを取り付けること。
- (4) 電動ストレッチャー及びサブストレッチャー
- 耐荷重 300 kg 以上の電動ストレッチャー及び支給するサブストレッチャーを搭載し、安全確実に固定すること。
- (5) 電動ストレッチャー架台
- 電動ストレッチャーが適合するものとする。
- (6) 酸素吸入装置
- ア 次に掲げる部品により構成する酸素吸入装置を取付けけること。
 - ・ 10 リットル型酸素ボンベ固定用ブラケット（2 式）
 - ・ ヨーク型減圧弁（2 個）
 - ・ 三方チーズ（1 個）
 - ・ 配管ホース（1 式）（酸素チューブ 2 m を 2 本と酸素マスク 2 個を含む）
 - ・ 加湿流量計付き酸素吸入装置 OX-III S（2 連式：1 式）
 - イ 酸素吸入装置付近の至便な位置に、酸素マスク等を収納するための収納庫を取り付けること。
- (7) スクープストレッチャー及びバックボード
- ア スクープストレッチャーを固定するブラケットを取り付け、走行時に振動しないよう確実に固定できるものとし、脱着が容易に行えるものとする。
 - イ バックボードを固定するブラケットを取り付け、走行時に振動しないよう確実に固定できるものとし、脱着が容易に行えるものとする。
- (8) ウォークスルー
- ア 運転室と患者室はウォークスルー構造とし、安全に往来できること。
 - イ 運転室と患者室は大型収納庫の扉を使用し隔離できる構造とすること。
- (9) サイレンアンブ
- ア 電子サイレンアンブを、センターコンソールまたはインストルメントパネルの至便な位置に取り付け、運転席及び助手席の双方から容易に操作できる構造とする。
 - イ 電子サイレンアンブは、ピーポー音で住宅モード機能を内蔵し、合成音声による出動予告放送及び各種広報が行えるマイクロホン付きとする。また、緊

急走行中、右左折時に、方向指示器に連動した合成音声による放送ができること。(サイレン連動とし、一般走行時は自動的に放送が停止されること。)

ウ モーターサイレン吹鳴用の押しボタンスイッチ（スイッチ位置がわかりづらい場合、照明機能を追加）を、助手席及び運転席（メーターパネル右）にそれぞれ設けること。

エ 緊急自動車の通過を知らせる音声合成装置の放送用スイッチを助手席及び運転中でも安全確実に操作できる至便な位置に設けること。

オ 出動予告放送用スイッチ（スイッチ位置がわかりづらい場合、夜間照明機能を追加）を電子サイレンアンプ取付け位置付近に設けること。

カ 助手席にモーターサイレン用足踏みスイッチを取付けること。

(10) フレキシブルマイク

運転席付近に、運転中でも安全確実に操作できる放送用フレキシブルマイクを設けること。

(11) 電源コンセント

ア AC100ボルト電源（300W正弦波インバーター）を取付け、室内の至便な位置に3極コンセント（接地端子付き）を必要数設けること。

イ AC100ボルト電源は、車体に設けた外部入力電源からの供給と正弦波インバーターからの供給が自動で切替わること。

ウ DC12ボルト電源出力コンセント（シガーライターソケット）を室内の至便な位置に取り付けること。

(12) 車載バッテリー充電設備

AC100ボルト外部入力用マグネット式コンセントから車両バッテリーを充電できる充電設備を設け、全自動電子バッテリー管理器にて過充電や過放電を防ぐ構造とし、定電流方式を用い車両バッテリーのキャップを閉めたまま安全確実に充電できること。

(13) 地図入れボックス

運転席と助手席の間に小型収納庫付地図入れボックスを取り付けること。

(14) マップランプ

隊長席には、オーバーヘッドコンソール部分にLED灯を取付け、運転席には、ピラーにフレキシブルLEDマップランプを取り付けること。

(15) スポットランプ

後部ドアの内側上部にスポットランプを取付け、後部ドア開放時に連動し、点灯と常時点灯及び、常時消灯の切替えスイッチを設けること。

(16) 室内灯

患者室天井に、十分な照度を有するLED灯を取り付けること。

ア LED灯は、左右各2灯、計4灯とする。

イ 傷病者の症状、救急処置の利便を考慮した調光器を取り付けること。

ウ スイッチを至便な位置に設けること。

(17) 患者灯

患者室天井の至便な位置に、患者灯を取り付けること。

ア 患者灯は、21W以上とし、左右各1灯、計2灯とする。

イ スイッチを至便な位置に設けること。

(18) ホワイトボード（ペンホルダー付）

患者室にホワイトボードを設置すること。

(19) マグネット式ティッシュボックスホルダー

(20) センサー類汎用ポケット

センサー類等を収納する小物入れを設置すること。

(21) 資器材収納庫等

ア 運転室と患者室の間に大型収納庫を設け、収納庫扉は隔離壁と兼用のものとし表面にマグネット式ティッシュホルダー等が取り付けられるように加工すること、その他外周面も含む至便な位置にC型バネ付フックを3個取り付け、収納庫内部には棚を設けること。

イ ルーフサイド等の余剰スペースを活用して、資器材収納庫を取付け、必要に応じて扉及び棚・網棚等を設けること。

(22) 手摺り等

患者室内には、次に掲げる手摺り等を設けること。

ア 天井に2箇所、ルーフサイドに2箇所、それぞれ取り付けること。

イ スライドドア開口部付近にグリップ、後部ドア開口部付近に長タイプのグリップを取り付けること。

(23) 輸液ボトル固定装置

患者室内の至便な位置に、輸液ボトルを固定できる装置（2本分）を1箇所取り付けること。

(24) 汎用メディカルポール

患者室内の至便な位置に、輸液ポンプ等を固定できるポールを1箇所取り付ける

(25) 汚物入れ

患者室内の至便な位置に、汚物入れを設けること。

(26) 手指消毒薬入れ

助手席後部付近に、手指消毒薬（1リットル）入れを設けること。

(27) 時計

患者室内に、デジタル電波時計を取り付けること。

(28) バックドア用ストラップ

バックドアにロングタイプのストラップを取り付けること。

(29) 医療機器架台取付け用レール

医療機器架台中段の前後に 2 本取り付けること。

(30) 医療機器架台

患者室の右窓下側面に、別表 3 及び別表 4 で当院が指定する各種医療機器を使い勝手を損なうことなく安全確実に固定できるとともに、機種によっては必要に応じて容易 に脱着することができる構造の架台を、その機種ごとに設けること。
ただし、別表 3 に掲げる医療機器は、当院の支給品とし、別表 4 に掲げる医療機器は医療機器受注者と協議し積載すること。

(31) スイッチ照明（無線ノイズ対応型 LED）

車体艤装にて取り付ける運転室内各スイッチ上部にはヘッドランプ連動の防眩措置を施した照明、患者室内の各スイッチ上部にはスイッチ付の防眩措置を施した照明を取り付けること。

5 車体表示

(1) ボディー両側面スライドドア

書 名	上部「清智会記念病院」 下部「SEICHIKAI MEMORIAL HOSPITAL」
位 置	ボディー両側面スライドドア
字 色	青 色（再帰性反射材）
書 体	丸ゴシック体
書き方	左書き

(2) ルーフ両側面

書 名	「AMBULANCE」
位 置	ルーフ両側面
字 色	青 色（再帰性反射材）
書 体	丸ゴシック体
書き方	左書き

(3) 後部ドア

書 名	「清智会記念病院」
位 置	車両後部ドア部
字 色	青 色（再帰性反射材）
書 体	丸ゴシック体
書き方	左書き

(4) 保安用反射表示

ア 車体の周囲に、約 70 mm 幅の赤色で再帰性に富んだ反射材を用いて反射表示すること。

イ ボディー両側面の下部に、白色の再帰性に富んだ反射材を用いたバッテンプーグマークとし反射表示すること。

- (5) 詳細については、当院と協議し決定すること。

第4章 検 査

1 中間検査

救急車製作の途中において、艤装の状況等、本仕様書及び承認図に定める条件と照合し、また製作の途中に発生した疑義事項等を協議することを目的として、当院と受注者の協議により決定した日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、次の事項について検査を行う。

- (1) 製作工程表との照合
- (2) 艤装承認図及び必要な図面との照合
- (3) 艤装・架装の施工状況

2 完成検査

製作完了後、当院が指定する日時及び場所において、受注者及び製作者立会いのうえ、下記の事項について行なうものとし、検査の結果、不備事項または不合格品があると認める場合は、当市の指示する日までに改修又は交換を行い、再度検査を受けるものとする。

- (1) この仕様書に定める艤装に関する一切の照合
- (2) 装備品及び付属品の機能・性能検査
- (3) 前項の他、当院が指示する事項

3 納入検査

納入検査は、当院が指定する納入場所において、受注者立会いのうえ、製作者並びに医療機器に関して所定の許可を受けた納入業者の説明のもと、艤装並びに積載品の性能及び数量と作動状況について実施する。

- (1) 各種検査証
- (2) 関係書類の照合
- (3) 資機材の規格及び数量
- (4) 主要装備、資機材の作動状況
- (5) 前項の他、当院が指示する事項

第5章 納 入

- 1 納入期限 令和9年3月31日(水)
- 2 納入場所 八王子市子安町3丁目18-1 清智会記念病院
- 3 納入台数 1台

第6章

- 1 本仕様書について、疑義または変更せざるをえない事項が生じた場合は、当院に速やかに連絡するとともに、綿密に協議し、当院の指示を受けるものとする。
- 2 本車両の保証期間は、納車後1年間とし、保証書を添付すること。ただし、各製造元が公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間までとする。
- 3 保証期間を問わず、設計、製作及び材料不良等に起因する不具合箇所が発生した場合は、受注者の責任において早急かつ無償にて修理、改善を行うものとする。
- 4 自動車登録及びリサイクルに関する手続き並びに緊急自動車の指定に係る手続等は受注者において行うこと。
- 5 受注者は、医療機器受注者と協議の上、医療機器を積載した状態で納入すること。
- 6 受注者は、当院と協議のうえ、完成車引渡後に車両及び資機材の取扱い説明を十分に実施すること。なお、派遣に対する一切の諸経費は受注者が負担すること。
- 7 本仕様書に定める車種、艀装、資機材等の設置、各種申請及び検査にかかる諸費用は、自賠責保険、自動車重量税、及びリサイクル手数料を除き、すべて受注者の負担とする。
- 8 本仕様書が提示された時期の前後にかかわらず、救急車に有用な変更若しくは改良が加えられ、若しくは新しい付属品並びに後継付属品が製造元から発表された場合には、その内容を当院に遅滞無く連絡し、必要な指示を受けること。
- 9 当院と受注者は常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を以って協議し、変更を加え、これを解決するものとする。

別表 1 車両装備品一覧

番号	品 名		数量	仕 様
1	バッテリー		1式	
2	オルタネーター		1式	
3	エアコンディショナー		1式	
4	パワーウインドウ		1式	
5	前照灯		1式	ディスチャージヘッドランプ（130Wクラス以上）又はLEDヘッドランプ
6	フロントアンダーミラー		1	
7	助手席用補助ミラー		1式	
8	電流計		1	
9	電圧計		1	
10	エンジン稼働積算計		1	
11	後退警報装置		1式	
12	フロントコーナーセンサー		1	
13	フォグランプ		1式	純正品
14	サンバイザー		1	
15	サイドバイザー		1	
16	集中ドアロック		1式	ワイヤレスリモコン・アンサーバック付き
17	カーナビゲーション		1	
18	車両周囲画像システム		1式	カーナビ又はルームミラー型モニター
19	前後2カメラドライブレコーダー		1	随時撮影タイプ（16時間以上記録可能） 記録媒体付
20	ETC2.0		1	運転室（ナビ連動）
21	ハイマウントストップランプ		1	後部ドア
22	サイドフラッシャーランプ		2	左右
23	電磁式半ドア防止装置		1式	スライドドア・バックドア
24	後部ドア部照明灯		2	スライドドア・バックドア
25	路肩灯		2	左右 LEDライト
26	赤色警光灯	ルーフ前方	1	LED 可変式
		ルーフ後方	2	LED 可変式
		フロントバンパー	2	大阪サイレン製 LF11D（配線カバー付）
27	作業等一体型LED赤色警光灯		6	小糸製作所 LEDHK1 各2個
28	モーターサイレン		1	足踏みスイッチ付

29	プライバシーウィンドウ	1式	右側面全面：着色フィルム 横向きシート上及び後部ドア全面：全面くもりフィルム 左スライドドア：一部透明仕様くもりフィルム
30	電源コネクタ	1式	インバーター・外部入力自動切替装置付
31	ステップ	1	ステンレス製バンパー保護板付
32	保護板	1	アルミ製 滑り止め加工付き
33	誤発進防止装置	1	
34	反射テープ	1式	赤色 70mm幅 各開口部
35	高級前向き隊員席	1式	ハイバック（シートベルト付） 座席下消火器設置
36	患者処置用後ろ向きシート	1	シートベルト付き
37	2人又は3人掛けシート	1	下部収納庫 シートベルト付き
38	電動ストレッチャー	1	ストライカーPower-PRO 2 専用バッテリー、予備バッテリー
39	電動ストレッチャー架台	1	ストライカーPower-LOAD
40	酸素吸入装置	1式	二連式加湿流量計付き酸素吸入器OX-III S ヨーク型減圧弁・ホース・チーズ 増設マニホールド（川重型2口）
41	酸素マスク収納庫	1	
42	サイレンアンプ	1	TCD製N160-CP01及びNX11-CP01 （N350-CP01付）設置できない場合に限り協議により大阪サレンOPS-D151Qで可とする。（要協議）右左折専用スピーカー（広報用メッセージ機能）
43	フレキシブルマイク	1	
44	電源コンセント	1式	
45	車載バッテリー充電設備	1式	
46	地図入れボックス	1式	運転室 蓋なし 小型収納庫Ⅰ型搭載
47	マップランプ	1式	助手席・運転席・患者室
48	スポットランプ	1	後部ドア内側
49	室内灯（調光器付）	4	
50	患者灯	2	
51	ホワイトボード	1	ペンホルダー付
52	マグネット式ティッシュホルダー	4	
53	センサー類汎用ポケット	1	

54	資機材収納庫	1	運転席と患者室の間（隔離壁兼用扉、棚板2段）
		1	右ルーフサイド
		1	右側面窓後方（大型・二段タイプ・処置トレイ付）
		1	右側面窓下
		1	助手席後部（一段収納庫・収納庫E）
55	手摺り等	1式	アシストグリップ（長タイプ） ルーフサイド ルーフアシストバー
56	輸液ボトル固定装置	1	酸素マスク収納庫 後方
57	汎用メディカルポール	1	
58	汚物入れ	1	足踏み上蓋開閉式
59	手指消毒薬入れ	1	
60	時計	1	デジタル式
61	バックドアストラップ	1	ロングタイプ
62	医療機器架台取り付け用レール	1式	医療機器架台中段の前後
63	医療機器架台	1式	
64	スイッチ照明	1式	無線ノイズ対応型

別表 2 車両附属品一覧

番号	名 称	数量	仕 様
1	フロアマット	1式	運転席、助手席
2	機械工具	1	工具入れ付
3	非常表示装置	1式	停止表示板、発煙筒、信号灯
4	ドアロックリモコン付き予備鍵	3	アンサーバック機能付き
5	ナンバープレートフレーム	2	
6	スペアタイヤ	1	純正ホイール付き
7	タイヤチェーン	1	イエティーネット
8	ジャッキ	1	
9	車輪止め	1	2個1組 ロープ付き
10	泥除け	4	全輪
11	ドアモール	2	運転席、助手席
12	ナイロン製牽引ロープ	1	牽引用アイボルトを含む
13	各電球、ヒューズ予備	1式	
14	タッチアップペイント	1	車両塗装色（白）
15	消火器	1	1.8ℓ 6型

別表 3 当院支給医療機器用架台取り付け一覧

番号	品 名	数量	機 種
1	自動体外式除細動器固定装置	1式	日本光電 TEC-2603（プリンター含む）
2	電動吸引器固定装置	1式	新鋭工業 ミニックDC-Ⅱ
3	スコープストレッチャー固定装置	1式	ファーノ 65EXL

別表4 納入医療機器用架台取り付け一覧

番号	品 名	数量	機 種
1	患者監視装置固定装置	1式	日本光電 BMS-3562